

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 325 号	氏名	黒崎 友亮
学位審査委員	主 査	西田 孝洋	
	副 査	中嶋 幹郎	
	副 査	佐々木 均	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、強い毒性により遺伝子治療への応用が従来困難であったカチオン性の非ウイルスベクターに代わる、安全でかつ高い遺伝子導入効果を有する、アニオン性高分子を用いた生体適合型の遺伝子ベクターを開発しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 生体適合型遺伝子ベクターとして、プラスミド DNA と polyethylenimine からなる複合体 (pDNA/PEI complex) に、アニオン性高分子で静電的に被膜することで調製し、in vitro 細胞および in vivo マウス全身系における、毒性および遺伝子発現効率を、従来のカチオン性ベクターの結果と、適切な統計学的手法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、アニオン性高分子である γ-polyglutamic acid を用いて pDNA/PEI complex を被膜することにより、安全かつ効果的な生体適合型遺伝子ベクターを開発できた。さらに、メラノーマの DNA ワクチンにこの新規遺伝子ベクターを応用した結果、メラノーマの増殖および転移を顕著に抑制することを明らかにし、今後の遺伝子治療研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は遺伝子治療研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (薬学) の学位に値するものと判断した。</p>			